



クラス通信



木田幼稚園
令和6年2月号

一雨ごとに暖かさが増し、季節は冬から春へと移り替わってきました。朝晩はまだ気温が低い日もありますが、日中の太陽の日差しに温かさを感じます。

インフルエンザ・コロナ・アデノウィルス等感染症の流行のニュースが聞かれます。引き続き手洗い・うがいの励行に心掛けていきます。

本年度もあと1ヵ月となりました。残りの日々を大切に、生活習慣を見直しつつ、楽しい思い出がたくさんできるように取り組んでいきます。

★節分・豆まき

2月2日（金）に節分・豆まきを行いました。各クラスで製作した鬼のお面をかぶり、両手には新聞紙で作った豆を持ち鬼の登場を待つお子様達。迫力ある和太鼓と共に鬼が出てくると教師のかけ声「体の中にある意地悪鬼や泣き虫鬼をやっつけよー」を合図に「鬼は外！福は内！」で豆を力いっぱい投げました。大きな鬼にびっくりした表情を浮かべるお子様もいましたが、皆で力を合わせ見事鬼退治が出来、「鬼をやっつけたね」と笑顔で楽しむ事が出来ました。

★涅槃会

2月15日（木）にこころホールで涅槃会（ねはんえ）を行いました。

涅槃会はお釈迦様がお亡くなりになられた日です。「人はどうしたら幸せに生きられるのだろう」といつも見守って下さるお釈迦様に心静かにお参りをしました。理事長先生から「自灯明」（自分の力で生きていくこと）「法灯明」（悪いことはしない、決まりや約束を守り、真面目にまっすぐ進んでいくこと）のお話を聞き、「涅槃図」の掛軸を見せて頂きました。今後もお釈迦様の教えを守り、「命」を大切に、思いやりが持てる人になるよう心掛けていきましょう。

★ほし組

16日（金）に国府宮神社・裸まつりに向け、あま市奉賛会主催の大鏡餅つき見学のためあま市役所へ出かけました。到着すると法被を着た沢山の人がお出迎え！昔は米などの食料不足に陥ったことから五穀豊穡を願って餅をつく風習ができたこと、鏡餅は厄を払う願いが込められていることを教えていただきました。

沢山の白が並び、杵を大きくおろして餅をつく姿を見て「幼稚園でもお餅つきしたよ！」

「頑張ってください」とエールを送り「よいしょ！」と掛け声に合わせて一緒にお餅をついていただきました。

それぞれのお餅は1000回つき、大人5人が手をつないでできた大きな輪程度の直径となり、総重量は4000kgになることを知りました。



☆ペンぎん組

トランプの神経衰弱やオセロゲーム、カルタ取りを楽しむお子様達です。「ここに黒を置くと3つ変わるよ」「残念、トランプあわなかったね。元にもどして」とルールを理解し、友達とゲームを楽しんでいる姿が見られました。最近は日課でも地図記号のカルタに取り組んでいます。「あたたまる温泉記号ー」「あ、温泉あった」「わあ、すごい。もう見つけた」「先生、次、次」早く取りたくてそわそわするお子様。カードを取る達成感を味わいました。ペンぎん組として過ごすのもあと1ヵ月。楽しい思い出をたくさん作り年長組へ進級出来る様、過ごしていきます。



☆りす組

いよいよ進級まで残り1ヵ月足らずとなりました。

この1年を通して、床での正座時、椅子での着席時に一人ひとりが「立腰」を自分で意識し、正しい姿勢で座ることが身に付きました。

書写・文字指導では、「はね」「はらい」「とめ」や全体のバランスをよく考えゆっくり丁寧に文字を書く事が出来るようにもなりました。今では、「もっと字を書きたい!」「自分の名前を書いてみたい!」と文字に対する興味も増しました。進級後も引き続き継続し、習慣として身に付くようにしていきます。



☆きりん組

お子さん達は登園すると元気よく「おはようございます」と挨拶をし教室に入ってきます。

きりん組での生活もあとわずかになり、今ではすっかり木田幼稚園の一員らしくご挨拶やお返事も丁寧に出来る様になりました。沢山のお友達と触れ合い、様々な体験をし大きく成長したお子さん達。毎日の生活の中で困っているお友達に声をかけ助けたり、落とし物を拾って落とし主に差し出したりと、「自立心」「思いやりの心」も育ちました。残り1ヶ月を更に楽しく笑顔で過ごせる様に進めていきます。

